

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山岸和美
	全体計画						経費区分		-		内線	3112
事務事業名	4037 低公害自動車導入事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	03011100 環境を守る活動の推進											
会計	01 一般会計											
科目	020106 総務費・総務管理費・車両管理費											
事業	980000 低公害自動車導入事業											
事業目的						事業概要・効果						
効率的な公務の執行のみならず、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止の一助とするとともに、市民の環境保護意識の醸成を図る。						集中管理車両として低公害自動車の導入。 【車両管理事業へ統合】						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
普通乗用車の更新予定なし 低公害自動車保有 8台	普通乗用車2台を引き続き低公害車で更新 電気自動車1台を更新 低公害自動車保有 8台
平成29年度 実績	平成30年度 予定
普通乗用車1台を引き続き低公害車で更新 電気自動車1台を更新 低公害自動車保有 8台 平成30年度更新予定の普通乗用車について、3輪自動車への更新を研究する。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	二酸化炭素（CO2）排出量の削減				
算式	ハイブリッド車の燃費をガソリン車の1.3倍で算出する。				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				25
	実績				
指標選定の理由	須坂市役所CO2削減実行計画に基づくCO2削減を図る H27 平均燃費 17.11				
最終年度目標の根拠	須坂市役所CO2削減実行計画ガソリン燃料の削減目標値				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		3,251	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,251	0
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.2	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	714.9	0.0
	嘱託職員	553.2	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,268.1	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		4,519.1	0.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,251	車両リース料 8台分

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	車両リース料 8台分

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	財政的許容範囲内で導入できれば必要性はある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	財政的許容範囲内で導入継続できれば有効性はある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	8台程度では大きな効率性とはならない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

引続き更新時やガソリンから低公害車に切り替える際は車両の小さいものを検討する。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量は、低公害車を導入することで確実に抑制されているため、財政的許容範囲内で継続する必要がある。

2次評価コメント

二酸化炭素（CO2）排出量の削減に向け、今後も計画的に低公害車に切り替える。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--